

医師の働き方改革の制度はこれからどうなるのか？

年1860時間という
時間外・休日労働の上限は
3年ごとに見直しを行う予定

→ 次の見直しは2027年度

→ 2035年度末には
B・連携B水準は終了の予定
C水準は残る見込み



医療機関の勤務環境改善だけでは実現は困難

2040年の医療提供体制を見据えた改革

2040年に向けて新たな課題に対応するため、**I.地域医療構想の実現に向けた取組**、**II.医療従事者の働き方改革**、**III.医師偏在対策**を推進し、総合的な医療提供体制改革を実施

I.医療施設の最適配置の実現と連携

(地域医療構想の実現：2025年まで)

- ① 全ての公立・公的医療機関等における具体的対応方針の合意形成
- ② 具体的対応方針の検証と地域医療構想の実現に向けた更なる取組

一体的に推進

II.医師・医療従事者の働き方改革

(医師の時間外労働に対する
上限規制：2024年～)

- ① 医療機関における労働時間管理の適正化とマネジメント改革
- ② 上手な医療のかかり方に向けた普及・啓発と患者・家族への支援

III.実効性のある医師偏在対策

(偏在是正の目標年：2036年)

- ① 地域及び診療科の医師偏在対策
- ② 総合診療専門医の確保等のプライマリ・ケアへの対応

外科医がいなくならないために、我々に必要なアクションは？ また、行政はどのような実効性のある施策が必要か？

市民公開講座

主催 日本消化器外科学会 

消化器外科医がいなくなる日？

～外科の危機から見える、私たちの医療の未来～



「がんの手術が受けられなくなる」

「救急車を呼んでも、診てくれる医師がない」

そんな未来が現実になりつつあることを、ご存じでしょうか？

THANK YOU

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

Email : fujikawa_aoi@kurume-u.ac.jp